

たった1分で
99%が消滅

「お茶でコロナが消える」奈良県立医大論文の中身

1970年代 スポーツ新聞が報じた「アイドルの芸能史」 岡崎友紀

桜田淳子 小柳ルミ子 キャンディーズ 山口百恵

幻のフィルムを発掘 大場久美子 岡田奈々 由美かおる

最新撮 安位カヲル「AV転身」 有栖花あか「Jカップ」



熱討

久米宏の
「ザ・ベストテン」

カラー

東京・裏道さんぽ
「名坂」と「裏坂」

昭和の怪物

森光子

病床数は世界一なのに

週刊現世

医療崩壊のウソと現実 重症病床が少ない理由

巻末大特集

特別定価520円

1/23 Weekly Gendai
2021 January

日本人が忘れてしまった
大人の考え方

市川團十郎 死を前にしたら 長門裕之 夫婦関係が
ぎくしゃくしたら 橋本治 娘が引きこもりになったら
桂米朝 大切な人を亡くしたら 樹木希林 他人が妬まし
かったら なかにし礼 殿山泰司 菅原文太 赤塚不二夫



企業ドキュメント

豊田章男社長が「教祖」になっちゃった

1 全国民が思っていること「菅さんに総理はムリだったね」

コロナの陰で爆発中

「鳥インフル」が実は怖い

飲食店に180万円、一方でリモートワーク課税の検討も この国のカネは大丈夫か

2位は心疾患、3位は脳血管障害。高血圧でも2割の人が死ぬ

4000人の「持病と既往症」

ようやくわかった——注意すべき人はこういう人

22ページ大特集

不安と不満

コロナで分断されるこの国

1960年代の「学生運動」を振り返る 世界を変えたいと思った日々

「まんてん」ヒロイン

宮地真緒

完全未公開
最後のフルヌード

藤圭子と高倉健がいた時代



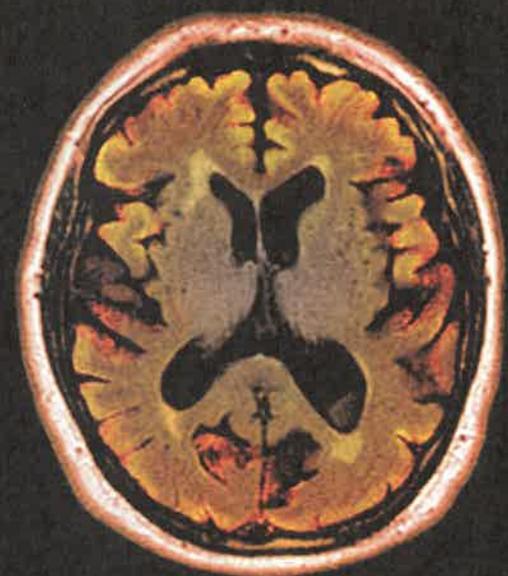


脳梗塞、くも膜下出血、グリオーマ、
アルツハイマー型認知症、パーキンソン病……

年間150万人が、ある日とつぜん罹患する

脳の病気 その本当の怖さ

処置を間違えば、命を落とすこともある。
誰もがリスクを抱えながら生きている、
恐ろしい疾病のメカニズムを徹底図解する。



本場の喜多方ラーメンをご自宅で

おかげさまで
1億
8000万食
突破!!
※2019年12月時点



太縮れ麺とすっきり醤油スープがくせになる

毎日食べても飽きない喜多方定番の味!

写真は調理例です。トッピング具材は商品に含まれておりません。

喜多方ラーメン 10食入

セット内容 生ラーメン×10・醤油スープ×6・味噌スープ×4

送料無料

お一人様3セットまで

1,980 (税別) 円



お申し込みは今すぐお電話で!!

☎050-2019-9454

受付時間 日祝を除く10時~17時

麺屋河京(株式会社河京)〒966-0902 福島県喜多方市松山町村松字常盤町2681

- お支払い方法: 郵便・コンビニ振込・代金引換(別途手数料)
- 10日前後でお届け。返品は8日以内(返送料はお客様負担)
- お客様の個人情報、厳重に管理し、商品の発送、弊社のご案内等のサービスの提供以外には利用いたしません。

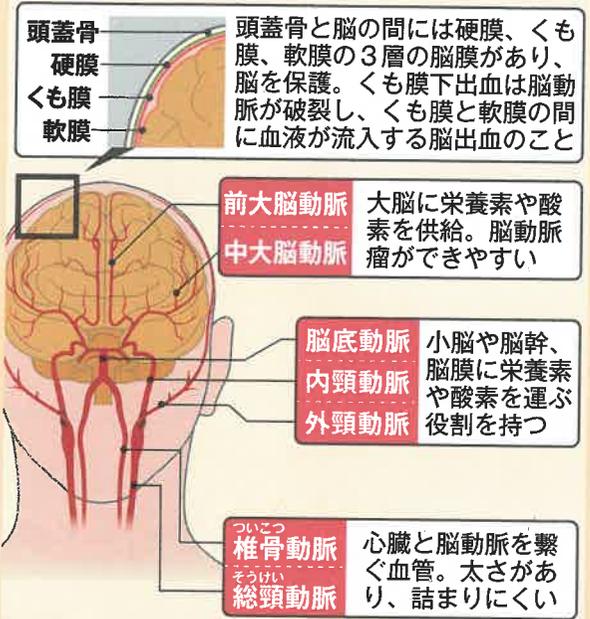
株式会社

河京
KAWAKYO

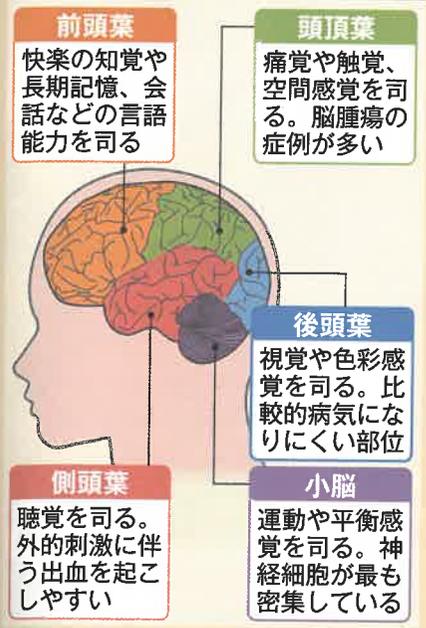
河京の喜多方ラーメンが愛される理由は、こだわり麺の美味しさ!みずみずしく、モチモチツルツルの麺の秘密は、等級の小麦粉。独自の配合でブレンドした2種類の小麦粉に、名水百選に選定された「梅峰(つがみね)渓流水」を加え、じっくりと熟成させています。厳選された素材と、手間暇かけた熟成によって、食感・のどごし共に最高の麺を生み出しているのです。是非、本場喜多方の味をご家庭でお楽しみください。

ヒトの生命を脅かす恐怖の病の正体

脳に巡る血管と脳膜の構造



5つの分野が異なる働きを持つ



脳に関わる三大疾病の実態

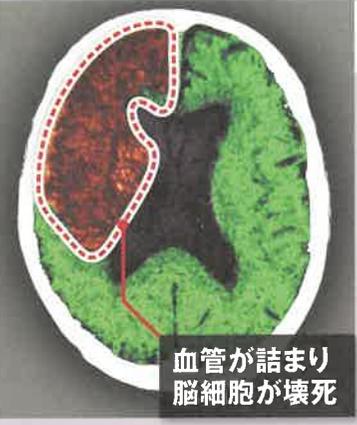
脳の病気のうち、脳卒中、認知症、そして脳腫瘍が脳の「三大疾病」である。これらの病気だけで、年間の患者数は150万人を優に超える。脳の病気は神経系に異常をきたすものと、血管

系に異常が起こるものに大別される。「脳腫瘍やアルツハイマー型認知症は脳の神経系、脳卒中は脳の血管系の疾患に分類されます」(くどうちあき脳神経外科クリニック院長の工藤千秋氏)

1 脳卒中

くも膜下出血や脳梗塞などを含む、脳の血管系の疾患の総称を脳卒中と言う。国内における死者数は、疾病全体の第4位にあたる。なかでも、脳梗塞の患者数は多い。「脳梗塞は脳内の血管が詰まり、脳細胞が死亡する病気です。突然脳に痛みが生じ、脳に栄養素が行きわたらなくなってしまう。脳の血管そのものが硬化して詰まるケースと、心臓などでできた血栓が脳の細い血管で詰まるケースがあります」(前出・矢崎氏)

殴られたような激しい痛みが生じ、場合によっては気を失う。すぐに処置しないと脳細胞が壊死する



ヒトが生命活動を行ううえで、もつとも重要な器官が脳だ。その重量は成人でおよそ1.2〜1.4kgに及び、他の哺乳類と比べても、際立って発達していることは周知のとおりである。上図のように、ヒトの脳は非常に複雑で、繊細な構造をしている。だからこそ、少しの「異常」が脳の機能に大きく影響し、深刻な病へとつながることもある。

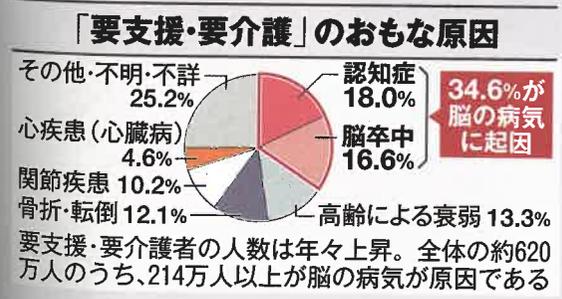
秋山脳神経外科病院・副院長の矢崎貴仁氏が警鐘を鳴らす。「脳の病気は、突然激しい痛みが起こり、そのまま命を奪うことも多い。しかも、誰にでも発症のリスクがあります。小さな前兆や、処置の方法などの知識を得ておかなければ、命の危険はさらに高まります」

死を免れても 要介護の状態を引き起こす

厚生労働省が発表した統計によれば、2017年の1年間で、脳血管の疾患による死亡者は10万6552人(患者数は111万5000人)に及ぶ。それだけではない。同年のアルツハイマー型認知症の患者数は56万2000人。また、脳梗塞などの疾病から生還しても、身体に後遺症が残るケースもある。これらを含めると、左のグラフにあるように、要支援・要介護者の3割以上は脳の病気に起因するのだ。



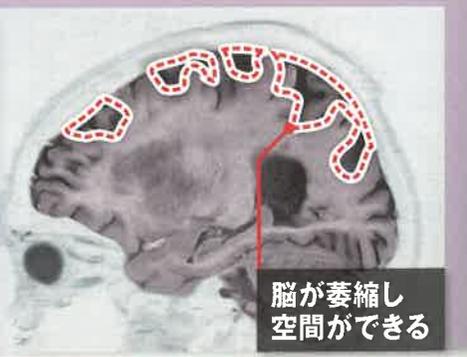
脳梗塞の手術の様子。脳の平均手術時間は2時間程度



※厚生労働省「国民生活基礎調査(2018年)」より作成

2 認知症

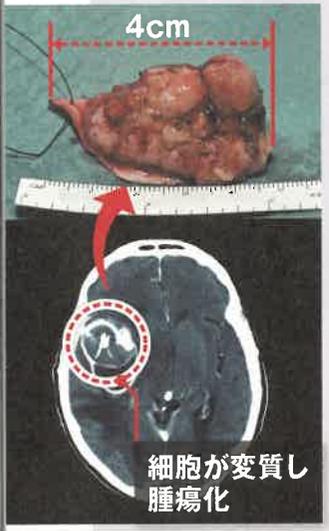
認知症はアルツハイマー型をはじめ、複数の要因で引き起こされる。脳の萎縮に伴う認知機能の障害である。WHOの試算によれば、世界の患者数は毎年770万人のペースで増加しており、2050年には1億人を超える。完治は難しく、進行を遅らせることしかできない。



前頭葉、頭頂葉が萎縮し、記憶力や言語能力などが衰える

3 脳腫瘍

脳腫瘍の発生要因はほとんど不明なまま。グリオーマ(神経膠腫)や髄膜腫など、150種類以上の形態が存在する。国内では、毎年1



万5000人程度が罹患していると推定される。発見が困難で、症状が現れたときにはすでに一定の大きさ(4cm以上)に成長し、大脳に浸潤しているケースが多く、再発頻度も高い。

脳内の神経細胞が何らかの理由で腫瘍化し、脳細胞に浸潤。情報伝達に異常をきたす

コロナウイルスと脳の病気の関係



世界中で蔓延する新型コロナウイルスは、肺炎だけでなく、脳の疾患も引き起こす病原体として恐れられている。アメリカ国立神経疾患・脳卒中研究所の研究で、新型コロナウイルスに感染すると、脳卒中発症、そして重症化のリスクが上昇することが明らかにされた。新型コロナウイルスへの感染で全身の血管に炎症が起これば、脳梗塞や脳出血を引き起こしやすくなるのだ。今後、感染拡大で、脳の病気の患者数も爆発的に増加する可能性がある。

新型コロナで病床が限られ、脳卒中の処置が困難になる二次的影響も

脳の病気に関する研究の2500年史

脳の病気に関する研究の起源は、左の年表のように、2500年前に遡る。

だが、医療の中心だった西洋においては、キリスト教下で人体の解剖が禁じられた。そのため、実質的な研究が始まったのは1861年以降だ。以来、さまざまな病気が発見されたが、完治が可能になった脳の病気はほとんど存在しない。

病が政治を動かすこともあった

徳川吉宗
1684年~1751年
脳梗塞

死は免れたものの言語障害が残り、執政は困難に。晩年は10人以上の介護役をつけていた



フランクリン・ルーズヴェルト
1882年~1945年
認知症

高血圧がたたり脳動脈が硬化。認知能力が衰え、ヤルタ会談での交渉に支障が生じた

毛沢東
1893年~1976年
ALS

全身の筋肉が麻痺する難病。会話が不自由になり、側近の間で権力を巡る内紛が発生



古からヒトを苦しめた脳病「てんかん」



脳研究の進歩の歴史

紀元前5世紀ごろ
ヒポクラテス(古代ギリシャ)が「神聖病(=てんかん)」の原因が脳にあることを指摘

1世紀ごろ
キリスト教が勃興、人々の考え方の規範に。人体の解剖が禁止され、脳に関する研究は長く滞る

2世紀ごろ
ガレノス(古代ローマ)がネズミの脳を解剖。脳内を満たす液体(脳漿)の発見

1543年
アンドレアス・ヴェサリウス(ベルギー)が人体解剖学書「ファブリカ」を出版、脳を図示

1861年
ポール・ブローカ(フランス)が脳の部位によって動きが異なることを発見

1875年
リチャード・カートン(イギリス)が脳波を発見

1906年
アロイス・アルツハイマー(ドイツ)がアルツハイマー病を発見。認知症が老化だけでなく、病気も発症する一因となることが示される

1975年
ドーパミンと統合失調症の関係が証明され、統合失調症は脳の病気の一つであることが示される

1990年
WHOが脳卒中を脳出血、くも膜下出血、脳梗塞などに分類

1992年
fMRI(機能的磁気共鳴画像法)が確立。今日まで続く脳の病気の診断方法となる

2006年
BMI(ブレイン・マシン・インターフェース)が開発され、コンピューターで脳全体の情報を取得することが可能に

てんかんは、複数回にわたって全身の痙攣や失神、幻覚などの症状を引き起こす脳の病気の一つだ。2021年現在、患者数は世界で5000万人を超える。脳内の神経系の異常活動が原因であり、古くは古代ギリシャのソクラテス、古代ローマのユリウス・カエサルなどにその症例が報告されている。完治は不可能である難病だが、現在は抗てんかん薬などの開発が進み、症状の80%程度は制御が可能だとされている。

てんかんにより幻覚を見るジャンヌ・ダルクを描いた美術画

治療における「失敗」の歴史

脳の構造は極めて複雑であり、かつ実質的な研究が進んだ時間も短い。このことは、人体が罹患するほかの病気と比べると、脳の病気に関する研究は「発展途上」であることを表している。

歴史を振り返れば、現在では明確に過ちであったとされ、使用が避けられている療法が、積極的に用いられていたこともあった。

15世紀から18世紀末のヨーロッパを中心に用いられていた瀉血はその一つだ。病気の原因は血液にあると考えられていた時代、患部の血管を割き、「悪い血」を体外に出す



瀉血による治療の様子

治療法は、脳の疾患にも用いられた。頭部の血管から血液を放出したのである。現在では、脳の病気に関して、その医学的効果は認められていない。

1935年、ポルトガル人医師エガス・モニスが考案したロボットミ手術もまた、現代では利用されていない術式である。前頭葉の切除により精神疾患を治療する療法は、当初は革新的であると考えられたものの、後にてんかんや人格変化などの重篤な副作用を引き起こすことが明らかとなる。日本では1975年、日本精神神経学会がロボットミ手術の一切を禁じる声明を発表している。

著名人を襲った脳卒中 その生死の境目

脳の病において脳卒中の患者数が多いのは先述のとおりだ。国内では、山下清や東八郎など、これまで数多くの著名人が脳卒中によって命を落としている。

脳卒中の特徴は、一度発症した際に無事でも、



山下清(上)は49歳、東八郎は52歳で脳卒中を発症。そのまま若くしてこの世を去った

その後、ある日突然再発する確率が極めて高いことだ。「1年以内に1割、5年以内に3割の患者が再発します。そして、再発を繰り返すごとに重症化していくのです」(前出・矢崎氏)

研究が進み、再発の危険性が認識され始めると、発症後の再発の危険性を鑑みた治療法が確立され、脳卒中による死亡率は減少。長嶋茂雄や石原慎太郎らは、脳卒中から生還を果たしている。



長嶋茂雄は復帰を果たしている

脳の「病」が引き起こす体の成長

晩年のジャイアント馬場(右)



脳腫瘍が人体に思わぬ影響を及ぼすこともある。身長209cm、体重135kgの巨軀を活かして活躍したプロレスラー、ジャイアント馬場。実は、馬場は「成長ホルモン産生下垂体腺腫」という脳

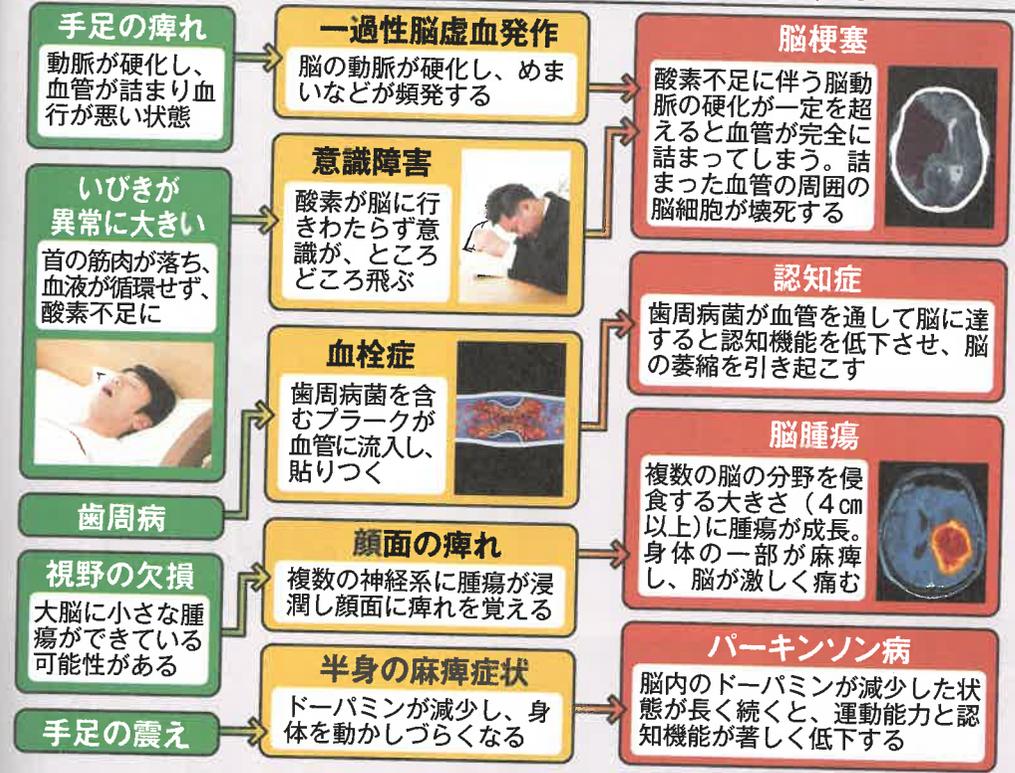
腫瘍の一種を患っていた。良性の脳腫瘍が成長ホルモンを分泌する下垂体に何らかの異常を及ぼし、人体を大きくする病気のひとつである。成人後も身長が伸び続けていた馬場は22歳のときに腫瘍の摘出手術を行い、そこで成長は止まったという。

ロボットミ手術で用いられた穿頭術自体は現在でも一般に行われている



なぜ脳の病気は引き起こされるのか

この「前兆」が重大な脳の病に発展する



誰にでも起こり得て、かつ、ある日突然襲ってくるのが脳の病気の特徴である。だが実は、見落としやすい「前兆」が存在する。上の表は、その前兆を放っておくと、どのような病気に発展する可能性があるのかを示したものだ。

「脳梗塞の多くは生活習慣病由来だとされています。手足に痺れ、症状があったり、ふらつきたり、頻繁にのどが渇いたりするのは、高血圧や糖尿病が原因で血管に異常が生じている恐れがあり、そのままだと、脳梗塞を引き起こす可能性があります（前出・工藤氏）」

たとえば、歯周病菌は口腔内の血管から全身を巡り、血栓を引き起こす。脳の細い血管に栄養素が行きわたらなくなる半面、歯周病菌が脳細胞を冒し、認知症になってしまふこともある。

また、不自然に手足が震えるのは、パーキンソン病の初期症状の一つ。前兆に気づくことさえできれば、重篤な運動障害などの発症を食い止める治療を受けることができる。

あなたの食生活は、こんな脳の病気の原因になる

1 人工甘味料と脳卒中

食生活も脳の健康状態に大きな影響を及ぼす。アメリカ・ポストン大学の研究チームの発表によれば、人工甘味料入りの飲料を一日1回以上摂取していた人は、全く飲まない人と比べて、脳卒

中のリスクが2・9倍になる。現在、因果関係の調査が進められている。



人工甘味料を多く含むコーラ

2 アミノ酸と認知症

東京大学薬学部による実験で、アルツハイマー病に罹ったマウスにアミノ酸を投与したところ、脳が活性化され、認知機能が回復することが示された。また、認知症は脳のアミノ酸不足が一因となることもわかった。

3 コーヒーと脳梗塞

ブラックコーヒーは脳梗塞のリスクを低減すると言われる。だが、オランダ・ユトレヒト大学の研究では、市販の加糖コーヒーには塩分が多く含まれており、この塩分が脳梗塞の原因となることが指摘されている。

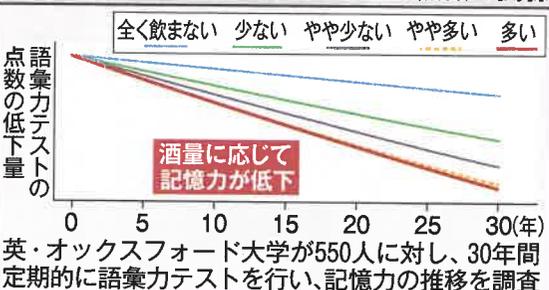


加糖コーヒーの糖より塩分が脳に毒となる

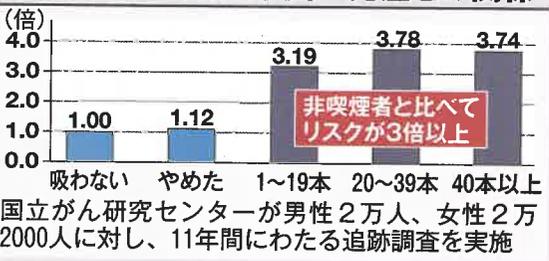
喫煙とアルコールの持つ「害」の実際

「酒は適量なら百薬の長となる」ことは、多くの酒飲みによって実しやかに主張されてきた。だが、脳の病気に関しては、この言葉は当てはまらない。イギリス・オックスフォード大学の研究によれば、アルコールの摂取量と脳の記憶力は負の相関関係にある（左上グラフ）。

アルコール摂取量と語彙力テストの点数の関係



喫煙本数とくも膜下出血発症との関係



近づき、少量の酒でも悪影響を与えるのだ。一方、国立がん研究センターの研究によれば、喫煙も同様に脳の病気の一大因となる。一日1本でも吸っていただ、くも膜下出血のリスクは3倍以上になることが示された。脳にとっては、酒も煙草も「百害あって一利なし」なのである。

職業ごとにしやすい脳病気がある

医学で示された 職業別 しやすい脳の病気

職業	罹りやすい病気	理由
公務員、教師、工場労働者	アルツハイマー病	画一的な勤務で外的刺激が少なく、脳の認知機能が衰える
タクシートラックなどのドライバー、飲食店職員、介護職員	脳梗塞	睡眠不足と血行不良が起こりやすく、血管が詰まりやすい
企業の管理職、株式トレーダー、システムエンジニア	脳腫瘍	ストレスで免疫系が弱まり、脳神経系がダメージを受ける
農家、漁師、建築業	パーキンソン病	重労働の肉体的負担が脳のドーパミン系に悪影響を与える

脳の健康状態に影響する睡眠時間や食生活などの生活習慣は、職業に因る部分が多いため、職業ごとに罹りやすい脳の病気がある。たとえば、睡眠時間が短く、長時間一定の姿勢をとることの多いドライバーは、血管が詰まりやすく、脳梗塞を起こしやすい。

動物の脳病が人間にも「感染」する



2000年代初頭に問題となったBSE（牛海綿状脳症）。運動機能障害を引き起こす牛の脳の病気、当時、国内ではBSEが蔓延した欧米産の牛肉が一時的に姿を消した。病原体は現在も明らかになっていないが、BSE感染牛を食したヒトにも、同種の脳の病気に感染したとされる例が報告されている。たとえ経口摂取でも、病原体は人体を循環し、脳を冒すのだ。

BSEによって大量の牛が殺処分された

豆やナッツはアミノ酸が豊富



脳を「修復」する医療現場の現在と未来

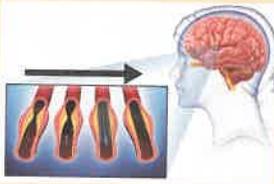
脳梗塞は「発症後3時間」で細胞が壊死し始める

突然発症し、すぐに処置しないと手遅れになるのが、脳の病気の最大の恐怖だ。

左図は脳梗塞発症後、脳に何が起るかを示したものだ。血管が詰まって3時間が経つと、酸素や栄養素が不足し、脳細胞が壊死しはじめる。脳外科医は、患者の脳血管

を広げ、栄養を脳に送る処置を行うことで、壊死を阻止する。

脳梗塞を起こした血管内部に細い針を通し、血管を拡張させ、血管に張り付いた異物を除去していく

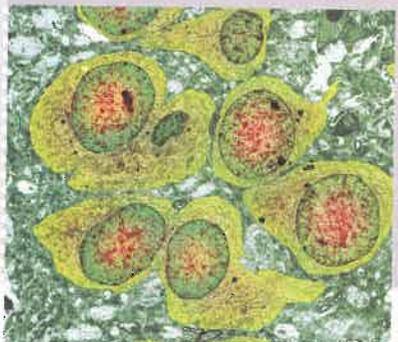


今後10年で起こる3つの革新

2 脳の損傷を治す薬の可能性

従来は不可能だった、壊死した脳細胞を蘇らせる研究も進んでいる。製薬会社のサンバイオが開発する「SB623」は、脳の損傷を治すことを目的とした薬だ。脳梗塞の後遺症である、半身麻痺などの症状の改善効果が期待される。

脳細胞（黄色）の修復・再生が可能になれば、脳腫瘍などの治療も容易に

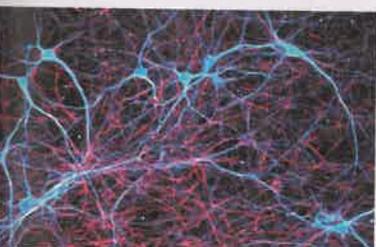


1 経頭蓋磁気刺激で認知機能が改善

脳を取り巻く医療は急速な進歩を遂げている。一度衰えた脳の認知機能は、投薬などの内的治療のみでしか治療できない。そこで、アメリカを中心に実証実験が進められている経頭蓋磁気刺激が注目されている。脳に電気刺激を与えることで、即時的に認知機能を回復させる治療法で、今後10年以内の実用化を目指しているという。



3 脳の病気を予断できるグリア細胞



ALSなどの難病の治療にグリア細胞（青色）を利用する研究が進められている

神経細胞を結合する働きを持つ「グリア細胞」。19年、理化学研究所が、脳内にあるこの細胞の解析結果を発表した。将来罹る確率の高い病気、重症化の可能性などを、この細胞の成分から予断することができると可能性が示されている。

「昭和の怪物」研究

その97

生誕100年
『放浪記』で
国民栄誉賞を受賞

童顔で若く見られた森。『放浪記』の演出家、菊田一夫は30代の森を初めて見た時、周囲に「17~18歳か？」と聞いている

女優として初めての国民栄誉賞。
優しい「日本のお母さん」は
壮絶な体験を胸に秘めて
日の当たる場所を勝ち取った。

森光子

光を与え続けた
女優の孤独

